

うめのき幼稚園だより

げんきもりもり

えがおにこにこ

ひとみきらきら

9月

令和6年9月2日
北区立うめのき幼稚園



子どもたちのために

園長 篠澤 恵理

夏休みに入る前日、昨年の修了生が、大きな作品をもって来園しました。それは、空き箱と小さな紙を組み合わせて作った、うめのき幼稚園の園舎や園庭の模型です。2階建ての園舎、園庭にある小屋の「カエルハウス」、土手の坂道、アスレチックロープ遊具や飼育している2匹のカメもいました。幼稚園の生活や園庭の遊びを思い出しながら、細かいところにも気持ちを込めて一生懸命に取り組んだことが伝わってくる作品でした。この修了生は、6月の同窓会で来園した時に「幼稚園を作ろう。」と思いついて作り始め、何日もかけて作り足して完成しました。そして、この度園児たちに見せようと持ってきてくれたのです。幼稚園を巣立った後も、幼稚園の環境を再現しようとしたことや、園児たちに誇らし気に説明している姿に感動しました。また、家で続きを作っている時は、色・形・高さや素材などを全て幼稚園のことを思い出しながら自分で考えていることにも感心しました。幼稚園生活で学んだことが次の意欲につながっているのは、何より嬉しい場面でした。子どもたちは、興味津々に作品を眺めたり、手に取ったりしていました。身近な材料が、アイディアと意欲と根気で、形になっていく様子がよく伝わる作品です。幼稚園の玄関に飾り、9月からの園生活のよい刺激にもなることを願っています。

夏休み中も幼稚園では、新園設立に向けた増設工事や水道・ガスの工事、トイレ改修工事、防犯カメラ設置に向けた打合せ等に、区の関係者や業者の皆様が来園して、猛暑の中お仕事をしてくださいました。また、赤羽北桜高校の生徒さんたちがボランティアで、プールの片付けとともに、今後の工事準備のために、教材室の材料や楽器類を全て2階へ移動させる手伝いをしてくださいました。梅木小学校をはじめ、地域の皆様にも、騒音等でご不便をおかけしていますが、ご協力いただいていることも心より感謝申し上げます。日々変化する景色に関心を向けて立ち止まってよく見ると、子どもたちのいないところで本当に多くの方が力を合わせてくださっていることが見えてきます。ぜひお子さんと一緒に足を止め、「子どもたちのために」と力を尽くして下さっている方々のお仕事を思い浮かべながら、感謝の気持ちを膨らませていくとともに、今後、新園舎はどのように増築されていくのか等、関心を向けていかれるように願っています。

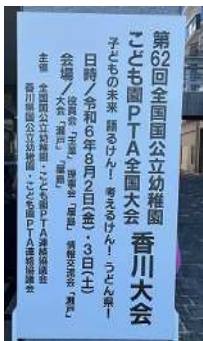
夏休みの工事の様子は、子どもたちが変化を実感できるように写真で掲示しました。空き箱や紙の模型は、物作りの入口かもしれません。子どもたちが、よく見て感じたり考えたりしたことが、次の意欲やひらめきにつながりますように。



えがおにこにこコーナー



【うめのき幼稚園 PTA の取組を、PTA の全国大会で発表しました】



8月3日に実施された「全国国公立幼稚園・子ども園 PTA 全国大会 香川大会」にて、うめのき幼稚園 PTA の取組「うめのき劇場」について、本園前会長が提案発表しました。うめのき劇場は、子どもたちに歌などを披露する取組で、子どもたちへの愛情をもとに、歴代の保護者の想いを受け継ぎながら40年続いてきました。保護者と幼稚園が、時代に応じて無理なく楽しむ取り組める方法を工夫して繋いできた内容です。

「子どもたちにありがとうをつたえたい～子どもたちの健やかな成長のために親子でつないできたこと～」という題で発表されました。これからも子どもたちのために、この想いを大切に繋いでまいりましょう。